

キャラクター名  プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	学生(UGNエージェント)
	パロール					
オプション			年齢	外見18(稼働年数5)	性別	男
覚醒	生誕	衝動	自傷	初期侵食率	42 %	
出自	人工生命	経験	失敗作	邂逅	主人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	0	1	0			1	行動値	11
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	11
精神	5	0	0		4	9	戦闘移動	16
社会	2	0	0			2	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	1		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
武器:決闘者の剣	白兵	9r+2	3	7		対象:単体なら攻撃力+4
100↓	白兵	7r+2		20		コスト7、侵蝕率B別
100↑	白兵	10r+2		23		コスト11、ダメージ+4D、侵蝕率B込み
ラストアクション	白兵	10r+2		23		戦闘不能時のみ。コスト5、ダメージ+6D、侵蝕率B込み

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
着てない					

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
思い出の一品					
コネ:UGN幹部					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
実験体	P 有為	N 疎外感			
人類	P 慕情	N 侮蔑			
神城早月	P 誠意	N 隔意			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時				-	
効果: 衝動判定+[LV]D、初期侵蝕率+5。								
オリジン:サイバー	1	2	マイナー				-	
効果: 【社会】達成値+[LV×2]								
コンセントレイト:ノイマン	2	2	メジャー				-	
効果: C値-[LV]								
コントロールソート:白兵	1	2	メジャー				-	
効果: 【精神】で判定。								
ラストアクション	1	5	オート				100↑	
効果: 戦闘不能時、HPOの状態でもメインプロセス。								
蝕命の魔眼	1	0	メジャー/リアクション				120↑	
効果: コスト0に変更、本来のコスト分のHPを失う。ラストA中に使う。								
戦神の祝福	1	20	メジャー				120↑	
効果: 攻撃力+[LV+4]D。蝕命といっしょに。								
巨人の斧	3	3	メジャー				-	
効果: 攻撃力+[LV×3]、命中-2D								
フェイタルヒット	3	4	オート				100↑	
効果: 攻撃力+[LV]D、ラウンド1回								
勝利の女神	3	4	オート				100↑	
効果: 判定後、達成値+[LV×3]								
ポケットディメンジョン	1							
効果:								
偏差把握	1							
効果:								
写真記憶	1							
効果:								

変異暴走:自傷  
暴走時、即座にHPを5D点失う。その後、暴走から回復する。

"世界の真実"公表の少し前、神城グループの研究者により生み出された人工レネゲイドビーイング。ATOの登場により、冷凍保存されていたジャームの治療と社会復帰は夢物語ではなくなった。しかし、目覚めた彼等を管理できる人材の不足も各所で指摘されていた。そうした中で神城グループ内のある研究者は、管理者に適した人格を転写したレネゲイドビーイングを量産することで、人材不足を解消できると主張。折しも都筑京香とゼノスによるレネゲイドビーイング人権獲得運動が起こる直前の、わずかな空白期間とも言える時期のことであった。

そして、とある研究者の人格をベースに、研究グループの考えた"ジャーム化治療者の管理に適した人格"がコンピュータ上でデザインされ、プロトタイプとなるレネゲイドビーイング素体に転写された。

……プロトタイプは短期間のうちに2名の担当セカンダリを"処分"し、制度運用が始まってほどなくしてカウンターを辞した。今では彼を生み出した改革派からも離れ、UGNの打ち出す綺麗事に共感する会長の下で働いている。

「私は人間ではない。レネゲイドビーイングだ。私を作り出した彼らは些細な違いだと思っていたようだけれど、違う。我々にとっては、違ったんだよ。」

■担当したセカンダリについて  
1人目は「ずっと一緒にはられない(職務だから)」という言葉が(彼の分析では)引き金となって精神が不安定になりジャーム化。彼に"処分"された。